

令和2年度

事業報告書

学校関係者評価委員会用

九州文化学園歯科衛生士学院

1) 基本的な教学運営方針

- ① 現場で役立つ歯科衛生士として必要な知識と技能の修得
- ② 歯科疾患の予防及び診療の補助者としての有能な歯科衛生士の育成
- ③ 地域住民の歯科医療向上への寄与

2) 教育活動

① 国家試験全員合格を目指した早期取組など対策強化

○3年生に対しては、入学時より定期的に国家試験対策の授業を行い、平成30年度から、夏休みに臨床実習を実施し、本格的な国家試験対策開始を1ヶ月早め、10月以降は大半の授業を試験対策に切り替え、冬季休業中には全員補習と個別補習を。模擬試験は15回(2年次3回、3年次12回)実施し、その都度結果を分析し成績下位者に対して少人数指導を強化する形で実施した。3月7日に福岡大学で実施される国家試験には、35名が出願し全員合格を目指している。全国の歯科衛生士養成校が3年制に移行後の昨年度までの11年間の平均の合格率は本校は97.7%、全国平均95.5%である。業者による対策講座も7月(3年)と1月(2・3年)に実施した。特に、今年度は新型コロナ対策を徹底する中で、本番に向けて指導を行っている。1・2年生に対しては、基礎的な学力の定着と早期の意識付けを目的として、1年次の2・3月に国家試験の過去問を使つての演習と6教科模試(解剖・生理学・病理学・薬理学・微生物学・生化学)を、2年次は、11月に模擬試験を実施した。

② 高齢者、障害者の口腔ケア、口腔リハビリテーションの習得

- ・長崎リハビリテーション病院・障害者支援施設「にじいろ」・老人ホーム「グリーンホーム」などでの実習

③ 外部施設による口腔ケア実習

- ・長崎大学病院実習による口腔ケアの向上(特殊歯科総合治療部周術期口腔管理センター病棟見学等)

④ 地域歯科保健の実践的習得

- ・佐世保市中央保健福祉センターにおける臨地実習
- ・佐世保総合医療センター、佐世保共済病院における臨床実習

○②～④については、今年度は新型コロナウイルス感染症により実習中止→文科省の新型コロナ対応として認められた代替策のレポート作成で対応。

⑤ コミュニケーション能力、情報処理能力などの即戦力強化

- ・医療事務管理士技能認定試験(歯科)の実施
- ・救急救命技能取得
- ・接遇マナー(コミュニケーション能力専門分野)講座と接遇マナー検定試験(3級)の実施
- ・ビブリオバトルへの参加
- ・HRの学生自主運営

○医療事務検定は今春卒業した3年生が、2年次の3月から不合格者は4回受験し、最終的に32/33名が合格した。救命技能は、例年7月頃に2年生が消防署の指導により実施していたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止とした。この資格は、個人の歯科医院に就職する学生が多いことから、現場で助かっているとの声をいただいている。医療事務の指導は、従来、本校職員が行っていたが、負担が軽減を図るため、外部講師に依頼している。

接遇マナーは2年生が外部講師による講座を受講後、11月に3級検定を受験し30/31名合格した。コミュニケーション能力を育成する講座では元NIBアナウンサーに講師を依頼し実施している。HRの学生自主運営は4年目に入り定着してきた。また、「ビブリオバトルin九州文化学園」に、1年生1名が出場した。プレゼン力を含めたコミュニケーション力の育成に繋がっている。

情報処理能力については、1年次より開講しパワーポイントを使つてのプレゼン力も含め情報処理能力が身に付いてきている。最後には、発表会も実施されている。講座終了時に学生へのアンケートが実施されているが、高い評価結果が出ている。これらの即戦力強化対策講座等は、就職先の現場において役に立つことだけでなく、思考力・表現力等の育成にも繋がることから、今後も継続的な指導を行っていくことにしている。

⑥ 臨床実習（2年生30日間、3年生90日間）の実施

○1月下旬から開始された2年生は、29日間（31名、19歯科医院）、5月から再開された3年生は、夏休みを含め10月中旬まで実施87日間（35名、29歯科医院、総合医療センター等の実習は校内実習やレポート等で代替した）実施した。市歯科医師会及び北松・東彼・大村の歯科医院に協力を頂いている。

⑦ 長崎大学医学部解剖見学（1年生）、矯正歯科見学・歯科技工士施設見学（臨床実習先で可能な歯科医院2年生）・訪問診療体験（「にじいろ」歯科巡回診療車見学を含む）

○長崎大学医学部解剖見学については、新型コロナウイルス感染症により来年度に延期となった。歯科技工士施設見学については、大村歯科技工士専門学校が閉校となったため、昨年度から、学校関係者評価委員歯科医師会関係者からのアドバイスがあり歯科技工士が勤務する臨床実習先があり、可能な範囲で見学をさせてもらっている。訪問診療体験については、「にじいろ」臨地実習が中止となったため実施できなかった。

⑧ 保護者面談（全学年）の実施

○各学年で予定通り実施した。

⑨ 歯科医療関係研修会への参加

○8月に「赤羽歯科（東京）スタッフ講習会」（zoom）、10月（3年生対象）に「南清和（大阪）先生講演会」を実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむを得ず中止した。

⑩その他

○患者実習の実施 5～8月に3年生を4グループに分け、家族等に患者役をお願いして、歯科医師・歯科衛生士の指導のもと各グループ2回の実施を予定していたが、新型コロナ感染症拡大防止のためやむを得ず中止した。

3) 学生支援活動

① 就職支援強化（市歯科医師会との連携による市内就職者増対策 院内見学会の実施、卒業生による職場紹介、歯科医院説明会）

○数年前から佐世保市内への就職者数が求人件数に対して半数程度の希望者という時期が続いており、市内就職希望者増を図るため市歯科医師会と連携し、6月に市内歯科医院に対して今年度採用の有無についての事前アンケートを行い、11月（昨年度8月）には求人予定で希望する歯科医院への学生見学会を実施、希望歯科医院25件中（昨年度25件）、11医院に18名（昨年度23名）が参加した。結果的に、市内就職は13名（昨年度比+3）であった。県内就職者数は19名（昨年度比±0）であった。今後も対策内容について再検討を行いながら、地元就職者の増加を目指していきたい。本校生への求人件数倍率は10.6倍（昨年度9.5倍）であった。全国歯科衛生士教育協議会がまとめた資料によると、ここ数年、求人件数倍率は上昇を続けており、全国的に慢性的な歯科衛生士不足が続いている状況があるとのことである。

○8月に赤羽歯科医院（東京）の講演会を兼ねた就職説明会を今年度はzoomを使い、行った。

○令和2年4月に開催を予定していた講師会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

② 保護者面談実施による家庭との連携強化

○家庭での学習・生活状況等を含め情報交換ができた。3年生については国家試験に向けての取組（補習・模試等）をもとに合格に向けての共通認識が図られている。就職についても情報交換が行われている。保護者に希望を取り、面談方法を対面・電話のいずれかで対応した。

③ 日本学生支援機構奨学金（文科省高等教育無償化（奨学金新制度）を含む）・専門実践教育給付金（再申請）への対応と関係者への周知

○今年度の日本学生支援機構奨学金の受給者は65名（69%）、そのうち、27名は、今年度からスタートした奨学金新制度の給付型の修学支援金制度採用者である。今年度は、新型コロナの影響で追加の募集や報告書の提出等、対応が大変であったが、担当者がマニュアルに沿って学生への説明会等を行い支障がないよう対応を行った。専門実践教育給付金については、本校は平成28年度から厚生労働省の指定講座となったが、昨年度2名の受給者が優秀な成績で卒業し国家試験も合格、就職も決定したため、最終的に学費の6割

(現在は7割給付に変更)が国から給付された。この制度はハローワークが窓口で、社会人のスキルアップを支援する制度である。尚、今回の募集で本制度を活用しての社会人入学1~2名が期待できる。

④令和3年度入学生からの学生サポート制度(アパート代・通学費・駐車場代補助)の準備

○次年度予算措置及び、HP公開・高校訪問・OC・関係業者ネット公開等での周知活動は予定通り実施した。

⑤その他

○本学園での学生支援強化の一環として、長崎国際大学人間社会学部講師で臨床心理士の中村美穂先生が本校に週1回午後の時間帯に勤務し、学生や職員の相談対応を行っている。悩みを抱える学生への対応や職員の教育相談にに応じていただいている。専門的な立場から指導助言をいただき、学校運営上、大いに貢献して頂いている。

4) 学生募集活動

○令和3年度入学予定者は、現時点で28名、昨年度の25名、一昨年度の33名と大幅な定員割れとなっている。その原因としては、本校が定員を満たしていた平成30年度までは定員の半数の入学があった九文高校(6名)・佐世保商業(4名)からの入学予定者がここ数年で半減していることが挙げられる。一方で、県内の他の養成校では、ここ数年続いていた定員(50名)割れが解消され、県内2校で昨年度66名から80名程に増加傾向になったこと、一部が他県の養成校へ流出している情報がある中で。その対策として、この4月にスタートする本校独自の学生サポート制度及び本校の教育活動や歯科衛生士の仕事の魅力を、OC・高校訪問・ガイダンス、そして本校HPに加え、リクルートマーケティング・日本ドリコム関連のネットでのインスタグラム・動画での情報発信などを通しての周知に、今後も継続して力を入れ、また、昨年度から開始の九文高校普通科のキャリアデザインコース2年生28名(内、学院15名)体験入学などを通して、ここ数年低迷している系列高校からの入学者増も含め、定員確保に繋げていきたい。

① 各種ガイダンスでの職種・学校説明の実施と参加ガイダンスの見直し、新型コロナウイルスに伴う令和元年度末実施予定のガイダンス中止への業者対策情報収集と対策

○参加ガイダンスの見直しについては、長崎・島原地区を昨年度参加数がほとんどなく、資料参加に切り替えた。6会場16名(昨年度同時期一10<新型コロナウイルス感染症感染拡大防止でガイダンスが相次いで中止の為減少)の参加であった。高校ガイダンスでは、実施校での歯科衛生士希望者がいないため本校参加の要請がなかった学校が、ここ数年増加している。ガイダンスは学生募集の重要な機会であり、職員のプレゼンカやタブレットを用いた説明法などを工夫し、本校の魅力発信に努めているが学生募集に繋がっていない。また、上記のとおり、ガイダンス中止の対応策として、HP及びリクルートマーケティング・日本ドリコム関連のネットでの本校紹介に力を入れた。尚、今年度に限っては、昨年度の3月のガイダンスも中止となり、ガイダンスの効果検証は難しい。

② 高等学校への職業紹介(出前講座)の実施

○九文高校において令和2年度は3月に1・2年生対象の会場ガイダンス・学校説明会があり、長崎国際大学・長崎短期大学と調理師専門学校と本校の参加を予定している。

③ 市内及び周辺地区高等学校の職業体験受入

○7月に清峰高校10名(内、学院1名・教師2名)、10月に九文高校28名(内、学院15名・教師2名)、佐世保東翔高校34名(内、学院16名・教師2名)、北松農業高校30名(内、学院5名・教師4名)、宇久高校12名(内、学院0名・教師4名)、大村城南高校10名(内、学院1名・教師2名)の体験入学があった。清峰・佐世保東翔高校・大村城南高校の両校とも、総合学科科で、1年次に科目「産業社会と人間」のなかで、進路学習の一環として実施されている。

④ 市内及び周辺地区学校でのブラッシング指導の実施

○今年度は、2年生が低学年・高学年向けのブラッシング動画を作成し、三川内中と九文小中学校へ送った。

⑤ オープンキャンパス(5回)の開催と7・8月の実施日の見直し

○6~9(7月は大雨で中止)、11月(追加)に月1回で4回のオープンキャンパスを実施した。参加者は56名(昨年度59名)で平成29年度97名に比べ、大幅に減少した。今年度については、新型コロナの影響

響があったこともあるが、HPや高校訪問等での早めの周知を行ったが参加者増には結びつかなかった。内容的には、コロナ対応で、開催時間を30分ほど短縮し学校紹介DVD視聴、パワーポイントを用いての学校行事の説明を学生自治会が担当、また、実習体験の補助に加え学生をできるだけ前面に出すなど、本校に対する親近感を持ってもらえるよう工夫を行っており、引き続き高校生に歯科衛生士や本校の魅力を伝える内容にして参加者増に繋げていきたい。

⑥ 情報発信の強化（学校案内・学校紹介DVDの活用、ホームページ（新着情報の更新）インスタグラム活用、テレビ佐世保、ライフ佐世保、FMさせば、公共施設等へのポスター掲示、受験雑誌（含むネット発信））

○テレビ佐世保（入学式・40周年記念式・戴帽式・歯科医師会コーナー出演）、ライフ佐世保（6回OC）案内・学生募集関係・職業実践専門課程認可校）、HP（インスタグラム・新着情報の更新）、長崎新聞（記念式）、学校紹介DVD活用に加え、日常的にスマホを利用することが多くなっている高校生への情報提供に対応するため、従来のHPだけでなく、リクルートマーケティング（大学・短大も利用しており、九文グループ料金で契約）・日本ドリコムネットを活用した資料請求（HPにもアクセス可能）できるようにしたが、学生募集に繋がっていない。

⑦ 学校訪問の実施（佐賀西部地区・島原半島地区の強化、五島地区・上五島地区新規訪問）

○年間4回の定期訪問（島原半島地区2回実施、佐賀市内2回実施、上五島地区1回）を実施した。1～2月に実施した4回目は出願校（調専を含む）を中心に出席お礼と進路未決定者の出席のお願いを行った。特に遠隔地の訪問校には学生サポート制度（アパート代・通学費補助）の周知に努めたが、大幅な入学者増には繋がらなかった。

⑧ 歯科医師会会員推薦制度（佐世保市歯科医師会、北松歯科医師会）の実施

○歯科医院を通じて、知人や患者など関係者へ本校の紹介をお願いする制度で、6月に各会長宛に依頼文書を発送し事務局から各会員に周知をお願いしている。

⑨ 指定校推薦制度の継続、厚労省専門実践教育給付金制度周知（学校案内・高校訪問）

○募集定員40名に対して、過去の入学実績をもとに14校23名枠の指定校推薦制度を実施したが、この制度で18名（昨年度比+5）が、九州文化学園高校は別枠でグループ内推薦制度があり6名（昨年度比+2）が受験した。一般推薦制度も含めると大半が推薦制度で入学しており、定員枠の確保、内部進学を増加を目指して、高校現場との情報交換を密にしながら、この制度を継続していきたい。

⑩ 文科省高等教育無償化（修学支援金新制度）対象校の高等学校・受験生への周知

○令和元年9月に対象校として認可、今年度更新申請も認可（専門学校の認可校は6割）の周知を高校訪問・OC・HP公表等で周知徹底を行った。本制度は高校在学時に予約できるが、要件を満たさなかった場合も、入学後、再申請を行い採用されるケースもあり、このことも含め高校現場に周知を行った。また、本校2・3年生も対象のため、担当者が対応し在籍94名中1年生5名を含む27名が受給している。

⑪ 令和3年度入学生からの学生サポート制度（アパート代・通学費・駐車場代補助）の周知

○高校訪問・OC・HP公表等で周知徹底を行った。

5) その他の活動

① 文部科学省 職業実践専門課程認可校の周知、専門職業（短期）大学校への申請検討

○平成28年度に認可校となった。本校の信頼度をPRする意味でも、HPでの公表、学校案内パンフ・OC・高校訪問等で説明し周知を図ってきた。認可校は県内専門学校で5校、全国の専門学校の4割程度である。また、国が推し進めている「専門職大学・短期大学」への申請については、様々な情報を収集する中で九州文化学園としての対応を慎重に進めていくことになる。

② 学校評価自己評価（職員・学生）の実施、学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会（5月・2月）の実施及び学校関係者評価の実施及び公表

○今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、年度末の1回とし紙上説明での評価とすることとした。本委員会及び評価は、①の認可校の要件のひとつでもあることから、平成27年2月に開始された委員会である。市歯科医師会2名を含む6名で構成する委員会を開催し学校評価を行っている。このことにより、教

育活動などにおいて職員のPDCA（計画・実践・検証・行動）の意識が高まり本校の活性化と本校の質の向上・保障に唾がっている。尚、評価については、県学事振興課へ提出し本校HPにて公表している。

③ 学生による学校評価の実施

○②の助言により行っている。この結果については学校関係者評価の参考資料としている。職員も前年度の分析を行い次年度の指導に活用している。

④ 学生自治会活動の定着化とボランティア活動の実施

○②の助言もあり6年前に学生自治会を発足させた。5月に総会を実施して、学校行事の自主運営や学校に対する要望等を役員を中心にまとめ、職員と話し合い行事の見直しや活性化及び学校生活のルール作りなど一定の効果はあっていると思われる。今年度は、新型コロナの影響で学園祭はオンライン開催・レクレーション大会は1年生のみの実施・クリスマス会も校内でのオンライン開催で実施、その中で、学園祭での今年度40周年で記念学園祭であったことから、学校の歴史をまとめた動画の制作など学生自治会の積極的取り組みが見られた。

⑤ 地域への貢献

・市内小学校・中学校へのブラッシング指導

○4) ④に記載

・地域への歯科保健推進活動（佐世保市・市歯科医師会主催デンタルフェスティバル（6月）への協力）

○6月に佐世保市中央公民館で実施されたデンタルフェスティバルでは、1・2年生・全教職員が補助員などで活動し、市民への歯科医療の広報に寄与すイベントである。今年度は、新型コロナ感染拡大防止のため中止となった。

・「歯科助手講座」への講師派遣及び会場提供

○市歯科医師会から今年度は実施しないとの連絡があり中止となった。

・職員による保育園・幼稚園イベント会場におけるブラッシング指導

○6月九文認定こども園で実施予定であったが新型コロナ感染拡大防止のため中止となった。

・地域ボランティア清掃活動（月1回）

○調理師専門学校と月を決め実施した。今年度は日水公園の清掃を中心に実施した。

⑥ 学園内での連携

・九文幼稚園での歯みがき教室開催（ブラッシング指導）

○新型コロナ感染症拡大防止により中止となったが、ブラッシング指導の動画を作成し、動画を用いての教室開催となった。

・九州文化学園ビブリオバトル大会への参加

○12月に実施された第5回九文ビブリオバトル大会に1年生1名が出場した。

・長崎短期大学茶道大会への参加

○12月に長崎短大主催第4回茶道大会が開催予定だったが、新型コロナ感染拡大防止のため学生の参加は中止となり職員関係者のみの参加となった。（会場：長崎短期大学）

・その他

○3) ④の長崎国際大学人間社会学部から臨床心理士の派遣をいただいているが、本校職員では対応が難しい事例が出てきており、講義での講師派遣も含め、総合学園としての支援体制に専門学校は支えられていることを実感している。

⑦ 専修学校内での連携

・学園祭の共同開催

○10月に恒例になっている学園祭をWEB開催した。1,2年生がそれぞれ、動画を作成し、HP、YouTubeへ期間限定でアップロードした。

・調専での調理実習の実施（年間2回）

○11・2月に調専専門学校職員指導のもと1年生が調理実習を行なったが好評であった。今年度は、新型コロナの影響で実習回数を減らしたが、クリスマス会や国家試験に向けての調専からの弁当形式の料理提供

で連携が行われた。

- ・**防災訓練の実施**

○5月に消防署の指導のもと防災訓練の実施を予定していたが新型コロナにより中止となった。消防署による査察は実施された。

- ・**調専集団給食実習への食事注文協力**

○年8回実施された給食実習（昼食）に、学生・職員が可能な範囲で注文を行い、調理師を目指す学生が作った料理を美味しく頂いた。その都度実施されるアンケートにも協力を行った。同じ校舎内で日頃、なかなか見ることのない調理学生の実習を見ることが出来て刺激にもなっていると思われる。

- ・**その他**

○6月に恒例となっている「2年生テーブルセッティング研修」（講師：調専講師 鈴木自子先生）は新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。

⑧ 教員研修

- ・**歯科衛生士専任教育講習会参加**

○昨年度に続き、今年度は該当者がいなかったため参加を見送った。

- ・**歯科衛生士教育協議会九州地区大会参加（福岡大会）**

○9月に福岡県で実施予定だったが、資料配布のみでの開催となった。

- ・**日本歯科衛生教育学会総会・学術大会**

○12月18～28日の期間でWEB学会として開催され参加した。普段参加できない職員も講演を聞くことができた

- ・**3階トイレ和式を洋式への改修工事（28年度～令和2年度完成）**

○新型コロナウイルスの影響で、完成年度が1年間延期となったが、同窓会「一華会」の資金援助を頂き、改修工事が完成した。改修工事の発端は学生自治会の要望であった。

⑩ 2020年度創立40周年記念行事の準備（実行委員会立ち上げ等）

○新型コロナウイルスの影響により、今年度は11月26日に1年生参加の記念式をおこなった。